







## トリビュートOD

版番号 1/J  
102000022418

4/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

### 5.2 特有の危険有害性

火災が発生した場合、次のものが発生する可能性がある：、一酸化炭素 (CO)、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)、シアン化水素 (青酸)、窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)、二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)、火災の際には危険なガスが発生する。

### 5.3 消防士へのアドバイス

#### 消火を行う者の保護

火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。火災時には、自給式呼吸器を着用する。

#### 詳細情報

熱による圧力の上昇を避けるために、火気のある場所から製品を取り出し、または容器を水で冷やしてください。消火剤の拡散を抑えること。火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

## 6. 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

#### 注意事項

漏出した製品や汚染された表面との接触を避けること。保護具を使用する。

### 6.2 環境に対する注意事項

地表水、排水口、地下水に入らないようにすること。

### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

#### 除去方法

不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。汚染された床や物を徹底的に清掃し、環境規制を遵守すること。廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

### 6.4 参照すべき他の項目

安全な取り扱いに関する情報は第7項を参照すること。  
個人用保護具に関する情報は第8項を参照すること。  
廃棄物処理に関する情報は第13項を参照すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 7.1 安全な取扱いのための予防措置

#### 安全取扱注意事項

適切な排気装置が設置されたエリアでのみ使用する。容器をこぼれないように取り扱うこと。

#### 技術的対策

静電気の蓄積を防止する手段を講じる。熱や発火源から遠ざける。消防法の規制に従うこと。

#### 接触回避・衛生対策

皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。作業服は別に保管する。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。汚れた衣服を直ちに脱がせ、洗濯し再使用すること。汚れた衣服が洗濯できない場合は、廃棄（焼却処理）をすること。

### 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

## トリビュートOD

版番号 1/J  
102000022418

5/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

安全な保管条件	納品時の容器でのみ保管する。乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。保管場所には、許可された者のみが出入りする。密閉した倉庫内に、または直射日光や霜を遮断する覆いの下に大量の材料や包装材料を保管する。
一般的な保管について	食物、飲み物、飼料から遠ざける。 原則として類を異にする消防法危険物と同一貯蔵してはならない。
安全な容器包装材料	Coex EVOH (1000L IBC)
7.3 特定の最終用途	ラベルおよび/またはリーフレットを参照すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 8.1 管理濃度

成分	CAS RN	管理濃度	更新日	基準
ホラムスルフロ	173159-57-4	10 mg/m <sup>3</sup> (TWA)		OES BCS*

\*OES BCS: Bayer AG クロップサイエンス部門内 "Occupational Exposure Standard"

## 8.2 曝露防止

## 保護具

通常の使用および取り扱い条件では、ラベルおよび/またはリーフレットを参照してください。それ以外の場合は、以下の推奨事項が適用されます

## 呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。  
呼吸用保護具は、封じ込め及び/又は局所排気装置など、発生源からのばく露の軽減対策を取ったうえで短時間の活動の残留リスクを管理するために使用すること。装着及びメンテナンスに関しては製造元の説明書に従うこと。

## 手の保護具

手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。  
汚染された手袋は洗うこと。内側が汚染した場合、穴が開いた場合、又は外側の汚染物質が除去できない場合は処分すること。

材質	ニトリルゴム
透過度	> 480 min
手袋の厚さ	> 0.4 mm
防護指数	クラス 6
指令	EN374に準じた防護手袋。

## 眼、顔面の保護具

欧州規格EN166(Field of Use;5)又は同等規格に適合するゴーグル型保護眼鏡を着用すること。

## 皮膚及び身体の保護具

標準的なつなぎの作業着とカテゴリ3タイプ6の化学防護服を着用すること。  
重大なばく露のリスクがある場合は、より高機能の防護服を検討する

## トリビュートOD

版番号 1/J  
102000022418

6/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

こと。  
可能であれば、2層の衣類を着用すること。ポリエステル/綿または綿のオーバーオールを化学防護服の下に着用し、よく洗濯すること。化学防護服が飛散したり、噴霧されたり、著しく汚染された場合は、できるだけ除染し、製造業者の指示に従って慎重に除去して処分する。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 9.1 物理的及び化学的性質の基本情報

物理状態	液体
色	ベージュ
臭い	芳香臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	5.0 - 7.0 (10 %) (23 ° C) (脱イオン水)
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	128 ° C
可燃性	データなし
自然発火点	データなし
最低点火エネルギー	データなし
自己促進分解温度(SADT)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界(上限値)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界(下限値)	データなし
蒸気圧	データなし
蒸発速度	データなし
相対ガス密度	データなし
相対密度	データなし
密度	約 0.96 g/cm <sup>3</sup> (20 ° C)
水に対する溶解度	分散
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	ホラムスルフロンの log Pow: 0.60

## トリビュートOD

版番号 1/J  
102000022418

7/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

粘度	データなし
動粘性率	データなし
酸化特性	データなし
爆発性	データなし
9.2 その他の情報	その他の安全性に関するデータなし

## 10. 安定性及び反応性

10.1 反応性	通常の状態では安定。
10.2 化学的安定性	推奨保管条件下では安定。
10.3 危険有害反応可能性	規定の指示に従い保管・取扱いした場合、危険有害性反応は起こらない。
10.4 避けるべき条件	極端な温度と直射日光。
10.5 混触危険物質	強酸、強塩基類、他の容器に移し替えて保管しないこと。
10.6 危険有害な分解生成物	通常の手扱い条件下では分解生成物はなし。

## 11. 有害性情報

## 11.1 毒性情報

急性毒性 (経口)	LD50 (ラット) > 2,000 mg/kg
急性毒性 (吸入)	LC50 (ラット) > 5.25 mg/l ばく露時間: 4 h 液体エアロゾルの形で測定 試験は類似の製剤で実施。
急性毒性 (経皮)	LD50 (ラット) > 2,000 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	わずかな刺激性 - 表示は必要なし (ウサギ)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	わずかな刺激性 - 表示は必要なし (ウサギ)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器系: データなし 皮膚: 皮膚感作性なし (モルモット)

## 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

ホラムスルフロン: 入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

## 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

## トリビュートOD

版番号 1/J  
102000022418

8/11

改訂日: 2022/08/01  
印刷日: 2022/08/01

ホラムスルフロンは、動物実験において特定の標的臓器毒性を示さなかった。

### 生殖細胞変異原性

ホラムスルフロンは、in vitro及びin vivo試験における遺伝毒性の重みから、変異原性及び遺伝毒性は認められなかった。

### 発がん性

ホラムスルフロン は、ラット及びマウスの試験において発がん性は認められなかった。

### 生殖毒性

ホラムスルフロンは、ラットの2世代研究では生殖毒性を引き起こさなかった。

### 発生毒性

ホラムスルフロンは、ラットおよびウサギにおいて発生毒性を引き起こさなかった。

### 誤えん有害性

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

#### 魚毒性

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)) 27 mg/l  
ばく露時間: 96 h

LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル)) 7.8 mg/l  
ばく露時間: 96 h  
試験は類似の製剤で実施。

#### 水生無脊椎動物に対する毒性

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)) 1.5 mg/l  
ばく露時間: 48 h

#### 水生植物に対する毒性

ErC50 (藻類) 9.0 mg/l  
成長速度; ばく露時間: 72 h

EC50 (Lemna gibba (イボウキクサ)) 0.75 µg/l  
成長速度; ばく露時間: 7 d  
試験は類似の製剤で実施。

### 12.2 残留性・分解性

#### 生分解性

ホラムスルフロン:  
急速な生分解性は認められない

#### Koc

ホラムスルフロン: Koc: 38 - 151

### 12.3 生体蓄積性

#### 生体蓄積性

ホラムスルフロン:  
生物濃縮なし



## トリビュートOD

版番号 1/J  
102000022418

9/11

改訂日: 2022/08/01  
印刷日: 2022/08/01

### 12.4 土壌中の移動性

#### 土壌中の移動性

ホラムスルフロン: 土壌中で移動する

### 12.5 PBT および vPvB の評価結果

#### PBT および vPvB の評価

ホラムスルフロン: 生物濃縮性で有毒な難分解性化学物質（PBT）とはみなされない。高生物濃縮性で高難分解性化学物質（vPvB）であるとは考えられていない。

### 12.6 その他の有害影響

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等産業廃棄物に関する法律、都道府県および市町村の関連条例に従って処理すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国内規則

鉄道および道路輸送

消防法、道路法の規制に従う。

指針番号

171

海上輸送

船舶安全法の規制に従う。

航空輸送

航空法の規制に従う。

包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

### IMDG

14.1 国連番号

3082

14.2 品名（国連輸送名）

ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.  
(ALKYL (C3-C6) BENZENE SOLUTION)

14.3 国連分類

9

14.4 容器等級

III

14.5 海洋汚染物質

該当

### IATA

14.1 国連番号

3082

14.2 品名（国連輸送名）

ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.  
(ALKYL (C3-C6) BENZENE SOLUTION)

14.3 国連分類

9

14.4 容器等級

III

14.5 環境危険有害性マーク

該当

## トリビュートOD

版番号 1/J  
102000022418

10/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

### 15. 適用法令

#### 15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

##### 詳細情報

WHO分類: クラスU (通常の使用条件で急性の有害作用は考えにくい)

##### 農薬取締法

登録番号 : 22918 (Bayer CropScience K.K.)

##### 消防法

第4類, 第三石油類, 危険等級III, 水溶性液体, (4000 リットル)

##### 労働安全衛生法

##### 名称等を表示すべき危険物及び有害物

コールタールナフサ 31- 35 %

ビフェニル 0.35 - 1.7 %

メチルナフタレン 10 - 17 %

##### 名称等を通知すべき危険物及び有害物

コールタールナフサ 31- 35 %

ナフタレン  $\leq$  0.35 %

ビフェニル 0.35 - 1.7 %

メチルナフタレン 10 - 17 %

##### 毒物及び劇物取締法

非該当

##### 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)

##### 第1種指定化学物質

化学名	番号	含有量 (%)
1-オクタノール	73	1.2
メチルナフタレン	438	11.5

### 16. その他の情報

1. 本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。

2. 記載の注意事項は通常の手扱いを対象とした参考情報です。取扱いの際は用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。

3. 本資料は情報提供の目的のために作成されたものであり、その記載内容を保証するものではありません。

## トリビュートOD

版番号 1/J  
102000022418

11/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

中毒の緊急問い合わせ先 : 公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い、急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民向け相談電話 医療機関専用有料電話  
(情報提供料: 無料) (情報提供料: 一件2,000円)

大 阪 (365日、24時間対応) 072-727-2499 072-726-9923

つくば (365日、9時~21時対応) 029-852-9999 029-851-9999

医療機関の方が一般市民用電話を使用した場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。

最も最近の版以降の変更は、余白に特記してあります。この版は、これまでの全ての版に代わるものです。